



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正
(超党派虹の会)

市民
産業振興



市南部の蒲原病院線廃止後の状況とA I オンデマンドタクシー※6の実施に向けて

問 増便した宮タクの利用状況は。

部長 チラシや回覧板などで宮タク増便の案内をして、当該地区における宮タク利用者は1カ月で121人増えた。

問 富士急が実証運行しているバスの富士宮駅発着便の増加、星山台・八景台への乗り入れなどについて、富士市と協議したらどうか。

部長 今後、富士市と協議していきたい。

問 A I オンデマンドタクシーの実施に向けた考えは。

部長 交通事業者とA I システム業者を呼んで話をしていきたい。



バス停があると安心

中小事業者の賃上げ支援及び中小企業対策費の大幅増額について

問 国・県の賃上げ支援策の活用状況と市独自の上乗せ助成について。

部長 従業員20人以下の小規模事業者にとって、国・県の賃上げ支援策の活用は困難。市独自の上乗せ助成は考えていない。

問 中小企業等実態調査で賃上げ支援策について調査し、市独自の支援策を考えてはどうか。

部長 令和8年度に市内3000社を対象にアンケートを実施し、その結果を中小企業振興懇話会に報告して、市に求められる支援の方向を考えていきたい。

要望 国全体の中小企業対策費は今年度予算総額122兆円のうち1700億円であまりにも少なすぎる。国の仕事と言わずに、中小企業対策費を増額するよう国に意見を上げていただきたい。



働く人を元気に



さいとう かずふみ
齋藤 和文
(公明会)

環境



サーキュラーエコノミー※7の進捗について

問 最終処分場の現状について。

部長 残余容量は1.27万㎡であり、埋め立て容量全体の12%である。焼却灰は令和6年度以降、全量外部委託処理しており、残スペースは地震などの災害時に使用するため確保している。

問 落じん灰売却の影響と評価について。

部長 令和6年4月より売却を開始して、外部委託していた灰の処分費947万円を削減できた。

問 落じん灰の売却料及びトン数について。

部長 令和6年度実績で227万円、207トンで、ドラム缶で1日4-5本回収している。

問 さらなる焼却灰減少策と焼却灰リサイクル施策について。

部長 ごみの減量化、分別の徹底が減少策である。焼却灰リサイクルについては、焼却灰の資

源化実証事業を行っている事業者から、主灰を選別する技術の提案があり、今後前向きに焼却灰の資源化の取組、情報収集や新たな資源化技術を積極的に調査研究していく。

問 当市の最終処分場の方向性について。

部長 現在の^{くらぼねざわ}鞍骨沢最終処分場の延命化、安定的処分体制の維持のため、外部委託による資源化、災害リスクに備えているため、新たな最終処分場の建設は今のところ考えていない。

意見 近隣市との最終処分場に関して連携を密に協議を行っていただきたい。



出典:経済産業省